

## 歯の衛生週間によせて③

桐生市歯科医師会

### むし歯とフッ素

むし歯は、プラーク

(歯垢 $\parallel$ しこう $\parallel$ )や歯石の中の細菌が食べ物糖分を分解してつくり出す「酸」により歯が溶かされる病気で、そのままにしてお

る、かぶせた歯にすぎ間ができた、つめもの

す。

の周りが黒いなど、このようなお口の中の変化に気づいたら、一日

ツ化(フッ素の化合物)

①歯の質を強くする

止する。

②むし歯になりかけ

また、フッ化物によるむし歯予防法には、

の歯の回復を助ける $\parallel$

全身的応用法(水道水フッ化物添加法など)

の表面が溶けてしまう

と局所的応用法(歯科

「脱灰」を防ぐ。

フッ化物洗口法、フッ化物配合歯磨剤の応用

③むし歯に対する抵抗作用をもつ $\parallel$ むし歯

など)があります。多くの先進国では行

歯の表面が修復される

われている水道水フッ化物添加は日本では行

状態(再石灰化)を促

われていません。その

す。

ため局所的応用を積極的に

③むし歯に対する抵抗作用をもつ $\parallel$ むし歯

物塗布を実施するの

菌が酸をつくり出すのを防ぎ、歯の脱灰を阻

で、ぜひご来場ください。

は、次の三つの作用があります。

7日に桐生市保健福祉会館において「歯の衛生週間行事」が行われます。無料でフッ化物塗布を実施するの

一般的にフッ化物には、次の三つの作用があります。

例えば、歯がしみ

## むし歯の予防にフッ化物塗布を

いても決して治ることはなく、むし歯がさらに進行すると、何もし

も早く歯科医院にて相談して診てもらいましょう。

物)を使う方法があるということはご存じだと思ひます。

なくても激しい痛みを伴う場合があります。

もちろん、そのような状態にならないよう

は、次の三つの作用があります。

例えば、歯がしみ

普段からむし歯予防を

あります。